

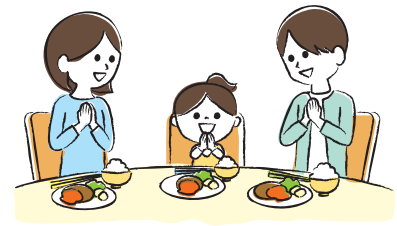


安全に食事をするために

近年、乳幼児から大人まで、食べ物が原因でアレルギー症状が出る人が増加傾向にあります。特に、初めて食べるものには注意しましょう。

問 保健衛生課／TEL661-9331

ID 002824

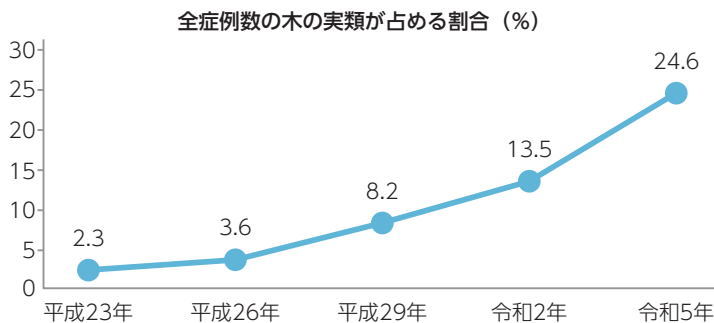


食物アレルギー表示 義務は8品目だけ

食物アレルギーの表示は、28品目の表示が推奨されていますが、そのうち表示が義務付けられているのは、発症数が多く、重篤な症状が現れやすい「特定原材料」と言われる8品目だけです。また、飲食店などのメニューには表示義務がありませんので、外食時などは店員に聞くなどして注意しましょう。

木の実類が急増 10年間で10倍に

健康志向の高まりなどから消費が増えているクルミ、カシューナッツ、マカダミアナッツなどの木の実類によるアレルギーが年々増加しています。消費者庁の調査では、平成23年の症例数の割合は全体の2.3%でしたが、令和5年は24.6%と10倍以上です。



出典：第7回食物アレルギー表示に関するアドバイザー会議（消費者庁）

表示義務 特定原材料8品目



表示推奨 特定原材料に準ずる20品目

アーモンド・アワビ・イカ・イクラ・オレンジ・カシューナッツ・キウイフルーツ・牛肉・ゴマ・サケ・サバ・大豆・鶏肉・バナナ・豚肉・マカダミアナッツ・モモ・ヤマモ・リンゴ・ゼラチン

大人になって 初めて症状が出る人も

アレルギー症状は、大人になって初めて症状が出る場合もあります。これまで大丈夫でも突然アレルギー症状が出ることがあるので注意しましょう。
















主な症状

じんましん、嘔吐（おうと）、ショック症状 など

健診・検診

ID 032781

問合 健康づくり推進課／TEL674-8800、FAX674-1551

日時・会場			申込方法
特定健診(9:30~11:00)		2/16(月)	不要(要受診券・マイナ保険証など)
オプション	[単独受診可] 肺がん検診、骨の健康度測定(骨測定) [単独受診不可] ヒロリ菌検査、肝炎ウイルス検診(B・C型)、前立腺(PSA)検査		当日
レディース検診(午前)	3/4(水)	[必須項目] 子宮頸がん、乳がん [選択項目] 肺がん、胃がん、大腸がん、骨測定	随時、   
子宮頸・乳・大腸がん検診(午後)	3/5(木)★	[必須項目] 子宮頸がん、乳がんのうち少なくとも1つ [選択項目] 大腸がん、骨測定	随時、    (保育は )
健康相談会(結果説明+個別相談) (14:00~15:30)	3/11(水)	相談員:医師、保健師、管理栄養士、薬剤師	随時、     (基本事項と生年月日記入)
	[特定健診] 今年度40~74歳(75歳の誕生日の前日まで)で市国保被保険者に限る()の健診が対象		※特定健診以外は市民だけ
	[がん検診] 肺・大腸=40歳以上、胃=50歳以上、子宮頸=20歳以上女性、乳=30歳以上女性、まとめて健診+(プラス)=40歳以上女性、レディース検診=30歳以上女性 ※胃・子宮頸・乳は前年度未受診者		
	[その他] ヒロリ菌=20~49歳(500円)、肝炎=今年度40歳以上(B・C型各500円)、前立腺=50~89歳男性、骨測定=40歳以上(500円) ※ヒロリ菌・肝炎は過去未受診者		
	日時は「健康だより」「特定健診のご案内」にも掲載▷無料送迎バスは「特定健診のご案内」に掲載▷会場の記載がないものは保健センター▷申込順▷費用記載なしは無料。ヒロリ菌・肝炎・骨測定にも無料制度あり。対象は非課税・生活保護受給世帯(要事前申請)、70歳以上または後期高齢者医療制度に加入している市民▷保健センターの胃がん検診はバリウムだけ▷市内の実施医療機関でも受診可(骨測定除く)		

※申込手段や基本事項の略は20ページ参照